

309) Weekend Lovers

抱き合った肩越しに 覗き込む腕時計
さよならの唇づけを 交わしたらベルが鳴る
後ろ髪引かれても これでしか帰れない
WeekendLovers いつの日か結ばれる

ぼくたちの週末は 地図のない遊園地
あてもなく彷徨^{さまよ}って 幸福を探してる
どんなことあろうとも 手を取って離れない
WeekendLovers いつの日か結ばれる

もしかしていつの日も 逢うことができたなら
今ごろは喧嘩して 別れてたことだろう
なかなか逢えなくて 毎日が深くなる
WeekendLovers いつの日か結ばれる

幸福をたぐるよに 一日を生きている
どんなにか遠くとも 距離を超え愛してる
この次に逢える日を 毎日の糧^{かて}にして
WeekendLovers いつの日か結ばれる